

栄駅周辺住民の足を考える会ニュース 2018年12月号（創刊号）

発行元 栄駅周辺の住民の足を考える会
事務局 桜が丘自治会館内
電話 078-994-2381
FAX 078-994-8350

【栄駅周辺住民の足を考える会（以下考える会）ニュース創刊趣旨】

生活の足の確保に向けて、栄駅周辺の秋葉台、栄市住、桜が丘、月が丘、美穂が丘、美穂が丘東の各自治会、そして関係するふれあいのまちづくり協議会で機関決定の上、設立総会を開催しました。今後、前述の目的に沿って地域住民の総意で活動を進めてまいります。

今後も「考える会」は老若男女を問わず地域の住民の方々が共同利用できる公共交通の構築と運行を目指した活動を続けてまいります。

より具体的な活動を行うためには、地域の方々の意思の疎通とご理解がどうしても必要でありますので、全戸配布の「栄駅周辺住民の足を考える会ニュース」を発行することに致しました。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

「考える会」参加団体（2018年11月現在）

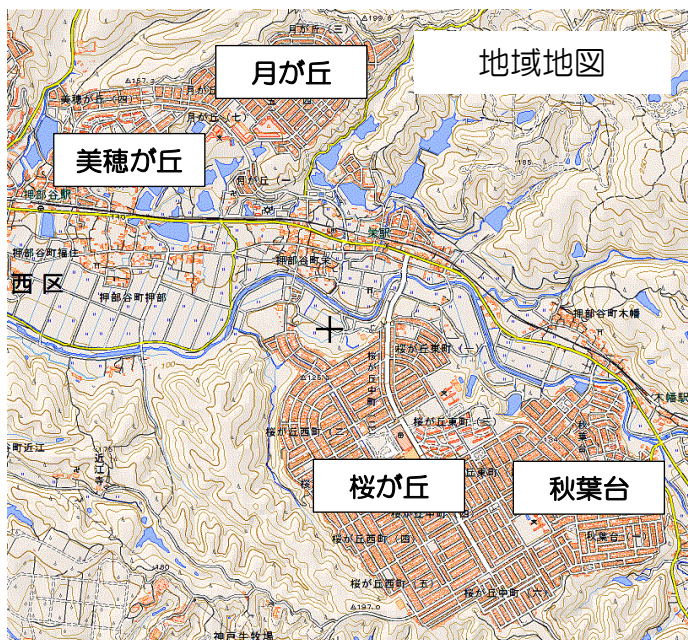
自治会

秋葉台自治会、栄市住自治会、桜が丘自治会
月が丘自治会、美穂が丘自治会、美穂が丘東自治会

ふれあいのまちづくり協議会

押部谷東ふれあいのまちづくり協議会
桜が丘ふれあいのまちづくり協議会
月が丘ふれあいのまちづくり協議会

参考資料 栄駅周辺地区の状況



世帯数・人口・高齢化率

地区	世帯数	人口	高齢化率 65歳以上
秋葉台	1,267	2,752	45.3%
桜が丘	3,657	8,404	36.8%
月が丘	1,375	3,320	28.0%
美穂が丘	739	1,497	47.3%
合計	7,038	15,973	37.4%
西区	105,896	243,922	25.6%
神戸市	755,815	1,537,629	27.7%

（神戸市人口統計 2018年9月より）

【地域交通勉強会の活動】

私たちが暮らす地域は、居住人口の減少や高齢者の増加で、商業施設、病院薬局などの生活利便施設への足の確保が問題となってきています。今はまだ自家用車を運転し移動できる人でも、運転免許を返納すればやはり生活の足の確保が問題となります。この地域で暮らし続けるために、平成29年7月から生活の足の確保について、周辺の秋葉台、栄市住、桜が丘、月が丘、美穂が丘、美穂が丘東の各自治会、そして関係するふれあいのまちづくり協議会の代表の有志で以下の通りの勉強会を続けてきました。

2017年

7月～11月

- ・神戸市出前トークでコミュニティバスの説明を受けました。
- ・同様な問題を抱える自治会、ふれあいのまちづくり協議会に声をかけて地域交通勉強会を立ち上げ、継続的に勉強会を開催することにしました。
- ・コミュニティバス例（塩屋、住吉台）の勉強会を開催しました。
- ・神戸コミュニティサポートセンター（神戸CS）の講習（有料）を受講しました。
- ・今後の進め方について話し合いを行ないました。
- ・住宅都市局公共交通課の方から神戸市の支援（コンサルタント派遣）についてお話を伺いました。この中で、コンサルタント派遣など神戸市の支援を受けようとするならば組織化が必要とのことで、今後の当面の活動の方向が定まりました。

2018年

1月～5月

- ・12月の行政の説明を受けて、設立総会について検討しました。
- ・考える会会則（案）について検討をしました。
- ・考える会会則設立準備（総会日程）について打ち合わせを行いました。
- ・平成30年6月9日に「栄駅周辺住民の足を考える会」の設立総会を開催することになりました。

【考える会」発足後の今までの活動】

今年6月から今日に至るまでの活動概要をご報告いたします。

6月9日

- ・設立総会を開催し「考える会」を正式に立ち上げるとともに会の活動計画、予算計画が承認されました。

6月～10月

- ・神戸市公共交通課と打ち合わせを行いました。神戸市公共交通課より、コンサルタント派遣などの神戸市の支援を決定するに当たり、予備調査アンケート実施の要望があり、「①今回は高齢者を対象に予備調査アンケートを実施する。②今回の予備調査の結果を分析し問題点と課題を把握後に神戸市が交通コンサルの派遣を決める。」ことになりました。
- ・第2回運営委員会を開催し、上記報告と予備アンケートについて審議しました。高齢者を対象に8月上旬～下旬にかけて予備調査アンケートを実施することに決定しました。

- ・8月上旬～下旬にかけて予備調査アンケートを実施しました。
- ・第3回運営委員会を開催し予備アンケート結果を報告し、神戸市に報告する内容を確認しました。
- ・予備アンケート結果をもって神戸市公共交通課と打ち合わせを行いました。その結果、神戸市でコンサルタント派遣の予算申請をしてもらうことになりました。
- ・第4回運営委員会を開催し、上記打ち合わせ結果報告と、広報紙の発行について審議をし、広報誌を発行することが決まりました。
- ・第5回運営委員会を開催し、広報誌（創刊号）の紙面割について審議しました。

【「考える会」 今後の活動】

2018年10月～2019年4月

- ・地域の方々の意思の疎通とご理解を頂くために、2018年12月に全戸配布の広報誌を発行致します。
- ・来年度から、「考える会」が本格的な活動を始めますが、活動がしやすくなるために、来年度の予算、事業計画を策定します。

2019年度

- ・老若男女を問わず地域の住民の方々が共同利用できる公共交通の構築と運行も目指して本格的に行政機関と連携をして協議をしていきます。
- ・地域の方々の意思の疎通とご理解を頂くために、適時、全戸配布の広報誌を発行します。
- ・地域の方々が、「共同利用できる公共交通の構築と運行」についてどのように考えているのかを把握するために、全戸を対象としたアンケート調査を計画しています。

参考資料 幹線道路 勾配

距離は地図から拾ったため目安程度、標高は国土地理院のデータによる。

①秋葉台地区

地 点	距離	標高	勾配率
秋葉台交差点	0m	111m	-
つねみ医院	201m	115m	2.0%
川崎屋前交差点	420m	133m	8.2%
大塚歯科医院そば交差点	561m	142m	6.4%
秋葉台児童館前交差点	683m	153m	9.0%
秋葉台公園前交差点	857m	166m	7.4%

②桜が丘地区

地 点	距離	標高	勾配率
桜が丘入り口交差点	0m	106m	-
西消防署押部谷出張所前	131m	108m	1.5%
桜が丘東町1丁目交差点	293m	119m	6.8%
歩道陸橋	580m	138m	6.6%
桜が丘東町3丁目交差点	896m	153m	4.7%
桜が丘東町5丁目交差点	1446m	174m	3.8%

③月が丘、美穂が丘地区

地 点	距離	標高	勾配率	地 点	距離	標高	勾配率
県道神戸三木線ガード下	0m	104m	-	東福住公園西	1283m	143m	-1.0%
月が丘1丁目	486m	126m	4.5%	へんみ歯科医院	1599m	131m	-3.8%
カーサソルーナ1番館側三差路	707m	136m	4.5%	押部谷集会所	1826m	121m	-4.4%
神戸コープ側三差路	910m	147m	5.4%	県道神戸三木線交差点	2223m	106m	-3.8%

勾配と車椅子（施設内など路面が平坦な場合）

1/12 (8.3%) 勾配 … 上り：介助必要（体力のある方は自力可）、下り：介助必要（体力のある方は自力可）

【予備調査アンケート実施報告】

1. アンケート趣旨

秋葉台、桜が丘、月が丘、美穂が丘地区は神戸市全体より高齢化が進んでいる地区です、高齢化が進むと当然ながら体力の低下が始まり日常生活に影響を及ぼします。

長年地域社会に関わり第二の人生を送られる高齢者にとって、体力の低下は日常生活、人との繋がり、観劇・絵画鑑賞など心の豊かさに大きな制限を加える要因となります。

少しでも、住み慣れた地域で豊かな第二の人生を送って頂くために、「栄駅周辺住民の足を考える会」は、高齢者の体力の低下による移動困難状態を少しでも改善することを目標に活動を進めております。

活動を始めてから今まで約1年になりますが、この期間先行他地区の事例の調査など行い地域特性、実現手段、実現性など勉強してきましたが、具体的な行動のためには、私達住民の意識とその必要性を知っておく必要があると考え今回の予備アンケートを実施しました。

2. 総括

アンケート結果から、高齢者の将来の生活維持を考えた場合、坂道の多い6自治会には、既存交通を補完する交通の仕組みが必要と判断できます。この活動は高齢者が住みやすい街を目指していますが、街の多様な活性化のためにも様々な年齢層の方々の交通利便性も考慮すべきと考えます。

3. アンケート配布数と回収数

アンケートは、周知・回収までの期間を短縮するため主に組織化された各地区の老人会を対象に行いました、表1に、各自治会のアンケート依頼数と回収数を示します。

表1 アンケート依頼数と回収数

自治会名	配布数	回収数	回収率
秋葉台自治会	140	109	78%
栄市住自治会	50	39	78%
桜が丘自治会	185	67	36%
月が丘自治会	70	22	31%
美穂が丘東自治会	87	83	95%

4. アンケート結果報告

アンケート結果を本ニュースに記載するスペースが無いため、「地域交通に関する予備アンケート結果報告書」を回覧して報告させていただきます。

【ご意見をお寄せください】

この予備調査アンケートについてご意見などがございましたら、地域の自治会・ふれあいのまちづくり協議会までお寄せください。年齢を問いません、若い方のご意見も歓迎いたします。